

## 表紙解説（阿波しらさぎ大橋）

表紙は平成24年4月に完成した阿波しらさぎ大橋（写真では河口に最も近い橋）を含む吉野川河口および南岸付近を鳥瞰する航空写真であり、工学部キャンパスは城山の右下に確認できます。

阿波しらさぎ大橋は吉野川の河口から約1.8 km上流に建設され、平成24年4月25日に開通しましたが、それに先立ち4月12日には徳島マラソン2012の走り初めがありました。長さ1291mで、河川に架かる道路橋としては四国最長となっています。徳島市中心部の慢性的な交通渋滞緩和や地域活性化等を主目的に徳島東環状線の一部として造られましたが、橋脚予定位置の河川南岸には干潟が広がり、絶滅危惧種に指定されている貴重な生物（シオマネキ等）が生息し、シラサギを始め多くの野鳥が飛来するところとなっていました。

そこで阿波しらさぎ大橋は、干潟への影響を最小限に抑えるとともに野鳥の飛来に影響を及ぼさないなど環境保全のためさまざまな工夫がなされ、「ケーブルイグレット工法」と名付けられた独自の工法による世界で初めての構造の橋梁となっています。

（阿波しらさぎ大橋の詳細につきましては、本工業会報43ページの“徳島東環状線「阿波しらさぎ大橋」について”をご参照ください。）



平成24年4月に開通した阿波しらさぎ大橋

## 工業会館のリニューアル施設

### (1) 新店舗エミリ（工業会館1階）

工業会館1階の喫茶エルボのあとに、徳島大学生協の新しい店舗（Emi\*re：エミリ）が平成23年10月3日にオープンし、開店を祝って大西徳生工学部長、美馬敬正工業会前理事長らがテープカットを行いました。

店内の座席数は16席、営業時間は土・日・祝日を除く10:00～20:00で、お弁当・食事以外にも文具やお菓子、清涼飲料水等も販売されています。

新店舗は明るくおしゃれになり、工学部の多くの学生、教職員に利用され賑わっています。



工業会館1階の新店舗“エミリ”

### (2) 多目的室（工業会館1階）

工業会館1階にありました和室（大）、和室（小）の部屋がリニューアルされ、「多目的室」に名称変更になりました。床はフローリングとなり、机は26台、椅子は52席で、平成23年12月1日より使用開始されています。

内装、照明、空調設備も一新され、会議、講演会、懇親会、各種催しの会場等として幅広い目的で便利に快適に利用できるようになっています。

皆様のご利用をお待ちしています。



リニューアルされた工業会館1階の多目的室